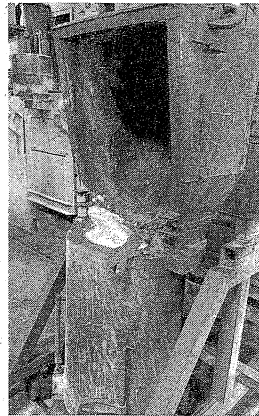


難局乗り越え 真の「エクセレントカンパニー」へ

三芳合金工業

特殊銅合金でITER参画

三芳合金工業（埼玉県三芳町）は、特殊銅合金の開発、製造を手がける。溶解からの一貫生産体制で、特殊で超高性能ニーズへの対応、少量多品種、短納期対応に強みがある。



溶解からの一貫生産体制で、特殊で超高性能ニーズへの対応、少量多品種、短納期対応に強みがある

宇宙・航空機分野を始め、核融合実験炉「ITER（イーター）」計画で建造されている装置の、冷却に関わる重要部品（ダイバータ）のクロム銅製パイプ材料にも関わる。ダイバータは核融合炉の発電能力を決める国際戦略上重要機器。熱

負荷の大きさは、スペースシャトルが宇宙から大気圏へ帰還する際に受ける熱負荷を上回るほどで、コア技術である結晶粒の制御技術を駆使し過酷な使用条件に耐える高性能な銅合金冷却管を供給している。

また、核融合用第一壁パネル（FWP）にも横展開中。欧州機関（F4E）が特殊銅合金板を調達し、パネルメーカーに供給するもので、ここでの受注にも結びついた。さらなる技術開発、新製品開発に向け、飽くなき挑戦を続けている。